

小学校 5 年

テーマに合う海からのおくりものを選ぶ

東大阪市立若江小学校

教科

家庭科

単元名

食べて元気に

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・食品に含まれる主な栄養素の働きが分かり、栄養のバランスを考えて献立を立てることができる。
- ・五大栄養素の働きをもとに、栄養バランスのよい給食献立を立て、その理由を説明することができる。
- ・栄養バランスのよい食事について関心をもち、健康により食生活を工夫し、家族の一員として生活をよりよくしようとする。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・必要な知識や情報を得ることに、読書を役立たせようとする。

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

C-STEP2, F-STEP2
J-STEP3, L-STEP2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開 (全 12 時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第 1 次 (3 時間)	・食事の大切さや日本の食事のよさについて考える。☆ ・五大栄養素の働きと食べ物について調べる。 ・給食の献立を五大栄養素に分けて、栄養バランスについて考える。
第 2 次 (4 時間)	・給食コンテストについて知り、テーマを決める。 ・テーマに合う海からのおくりものを選び、その理由を考える。(本時) ・テーマをもとに海からのおくりものを生かした給食献立を考える。
第 3 次 (5 時間)	・ご飯たきとみそしるの調理の仕方を調べる。 ・ご飯とみそしるの作り方を調べる。 ・ご飯とみそしるの調理をする。 ・調理実習をふりかえり、今後の生活に生かすための方法を考える。

本時のねらい

テーマに合う海からのおくりものについて、五大栄養素の働きや食品の特徴をもとに考え、献立に取り入れる食材を判断することができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント) ●指導上の留意点等
導入 (7 分)	1. 本時の学習課題を確認する。 ・前時で考えたテーマを確認する。 ・めあてと評価の仕方を確認する。 「テーマに合う海からのおくりものを選び、その理由を家庭科のものさしをもとに書こう。」	(・知識を実際の場面に当てはめて論理的に考える力を養うために、テーマに合う食材の一つを選びその理由を書く活動を設定した。) ●家庭科のものさし(テーマに合っているか、栄養素の面はどうか、給食に向いているか)を示す。
展開 (30 分)	2. マトリクス表を用いて比較する。 ・海からのおくりものの候補の中から 2・3 種類を選ぶ。 ・インターネットで調べたこと(五大栄養素、食材の特徴など)をマトリクス表に記入し、比較する。  3. 交流する。 4. 交流をふまえて、海からのおくりもの一つを決定する。 ・献立に取り入れたい食材の一つに決定し、理由を書く。	★調べたことを比較しやすいようにマトリクス表を使用して、情報を整理させる。 ★家庭科のものさしに沿って交流できるようにする。 ★質問や助言を通して、自分の考えを確かめたり深めたりできるよう支援する。 ★選んだ理由を、家庭科のものさしをもとに記述させる。 ●A をめざしたい児童には、2 種類の食材を比較しながら書くように指示をする。
まとめ (8 分)	5. 学習のふりかえりをする。 ・テーマに合う理由と栄養の面の両方から見た良さについて考えることができたかをふりかえる。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「おおさか学校給食献立コンテスト『海からのおくりものをおいしく食べよう』」への応募を目的とし、献立を立てる活動を通して、栄養に関する知識を実際の食生活に結び付けて考えようとすることができた。
- ・家庭科のものさしを示したことで、交流するときや理由を記入するときに、本時のねらいにせまることができた。

ふりかえり(一部紹介)

「身長をのばそう給食」というテーマの児童「鮭が身長を伸ばす栄養があったのははじめてでした。次から鮭を食べて身長を伸ばします！」



マトリクス表から食材の一つを選び、理由を言語化しているところ。